

はじめに



本市の西部にある下志津・畔田谷津では、平成19年度から「畔田谷津ワークショップ」として、市民協働による環境保全活動が行われてきました。市民の皆さんの地道な活動によって、耕作放棄地であった谷津が徐々にかつての豊かな里山に戻り、希少な動植物の生息も確認されるようになってきました。その結果、平成27年12月には、環境省が全国で500箇所選定した「生物多様性保全上重要な里地里山（重要里地里山）」のひとつとして選定されるほど復元が進んでいます。

さらに、平成28年6月には、市内の直弥公園谷津田生態系保全区域と岩富地区において山林や湿田の保全再生作業や生物調査などを行っている市民団体「佐倉里山クラブ」が、これまでの多年にわたる顕著な功績により平成28年度環境大臣賞「地域環境保全功労者表彰」を受賞しました。

このように、市内の各所で市民の方々が精力的に環境保護に取り組まれていることを、大変心強く感じております。市といたしましても、市民の皆様のさまざまな活動と連携しながら、暮らしやすく、美しい自然に恵まれた「ふるさと佐倉」を次世代に引き継げるよう、力を尽くしてまいります。

本書は、平成27年度（2015年度）における佐倉市の環境の現状と保全に関する事業やその成果について、概要をとりまとめたものです。本書を通じ、多くの皆さまが環境に対する関心を深められるとともに、本市の環境行政の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

佐倉市長 巖 和 雄